

BIG-IP

コネクション確立中にPool Member がダウンしたときのBIG-IPの動作

F5ネットワークスジャパン株式会社

コネクション確立中にPool Memberがダウンしたした場合の動作について

- 動作はAction On Service Downのパラメータにより動作が決定される。
- Action On Service Down のパラメータは Pool Member 設定の Advanced Configuration に存在し、パラメータおよび動作は下記の4種類

Configuration: **Advanced**

Name: HTTP-POOL01

Health Monitors

Active	Available
http	gateway_icmp
	https
	https_443
	inband
	link_monitor

Availability Requirement: All Health Monitor(s)

Allow SNAT: Yes

Allow NAT: Yes

Action On Service Down: None

Slow Ramp Time: seconds

IP ToS to Client: Reselect

IP ToS to Server: Pass Through

Link QoS to Client: Pass Through

Link QoS to Server: Pass Through

Reselect Tries: 0

- None: 何もしない (Default設定)
- Reject: 通信を拒否する (TCP RST or ICMP メッセージを送信)
- Drop: パケットを廃棄する
- Reselect: Load Balancing Method、Priority Group Activationから他のnodeを再選択

Action詳細

■ none

BIG-IP LTM は、クライアントからデータが送信されるかサーバからレスポンスがある場合、既存の確立されたコネクションにデータを送り続けます。コネクションの制御は、TCP メカニズムによって制御されます。

クライアント側サーバ側両コネクションの管理をBIG-IP LTMで行わない場合noneを選択します。

■ Reject

プールメンバーがDownになった後、クライアントおよびサーバへ TCP RST もしくは ICMP メッセージを送信します。その際、LTM のコネクションテーブルは削除されます。Reject はサービスダウン時にもっとも一般的に使用されるオプションです。このオプションはクライアント側のコネクションを閉じるため、失敗したコネクションを素早く回復できます。

■ Drop

BIG-IP LTM は確立したコネクションに送られたどんな新しいクライアントデータも廃棄します。コネクションテーブル上のコネクションは下記2つのイベントが発生するまで保持されます。

- 1) idle timer
- 2) クライアントもしくはサーバ側からのコネクションクローズ

RST もしくは ICMP メッセージをクライアントに送るのが望ましくないときに Drop を使用してください。

Drop は、サーバの状態をクライアントに即座に反映したくない、またコネクションのクローズをクライアント側依存にしたい場合に使用します。

■ Reselect

BIG-IP LTMは他のpoolメンバーが利用できる場合、クライアントコネクションを新しいサーバコネクションに再接続します。(利用できる場合は既存のOne Connectを利用し、利用できない場合は新規サーバに必要なコネクションを確立します)



IT agility. Your way.

Twitterでコンテンツ更新情報
をお知らせします！
@F5TechDepot



本資料に関するご意見、ご要望は、下記のメールアドレス(受信専用)にお願い致します。

F5J-Tech_Depot/atmark/f5.com

※迷惑メール防止のため、「@」を「/atmark/」と表記しています。